

## ユーザー探訪

目指すは無事故。  
SRを有効活用し、エコドライブの実現へ取り組む

### 日本ロジテム株式会社 殿

本社 安全品質管理部 安全課長 赤司 邦夫様にインタビュー



#### 会社概要

#### 日本ロジテム株式会社

所在地：〒105-0004 東京都港区新橋5-11-3 新橋住友ビル  
TEL 03-3433-6711 (代) FAX 03-3437-0145

営業拠点：24拠点

設立：1944年10月13日

代表者：代表取締役社長 中西 弘毅

事業内容：貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、倉庫業、引越し事業

従業員数：655名（グループ全体2,497名）2007年3月現在

車両台数：185台

SR導入：2004年11月 SRcomm 69台、SRcomm+DVR 3台 合計72台

2005年 7月 SRcomm 169台・・・全車両に導入

2005年10月 SRcomm 50台 関連会社 阪神ロジテム(株)・

ロジテムトランスポート(株)(旧：大阪信和運輸(株))に導入

日本ロジテムは、関東圏を中心に30余の営業所網、国内40万平方メートルの倉庫を運営している総合物流企業です。ロジスティクスを企業戦略の一環としてとらえ、最適な物流機能をお客様に提供することを掲げています。具体的には、保管・輸送・加工、さらにはシステム化、アウトソーシング化のサポート、企業・個人宅の引越し業務のプロデュースも業務です。1959年の皇太子妃、美智子妃殿下お輿入れ荷物運搬の任を賜り、中西正道社長(当時)の総指揮のもとに完遂したことは、沿革にも紹介されています。

#### SR導入の効果

### 1. 事故件数の削減

2005年(4月~3月)は前年比25%減少  
2006年前年同期比(12件→8件)67%減少

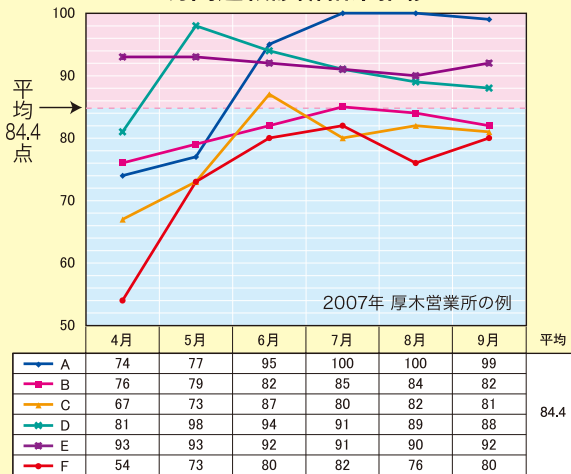
### 2. 燃費アップ!

2005年 4.7km/ℓ  
2006年 4.8km/ℓ  
2007年上期 4.9km/ℓ

### 3. 点数アップ!

例：厚木営業所の場合(右図)

#### 月間運転診断結果推移



#### SR導入の経緯

### 事故防止が主目的。 エコドライブ実践による効果も期待!

SRの導入検討は、事故防止を最重要項目(9件/年以下目標)への取り組みとして動き出しました。

2003年に試着装し、約3週間テストを実施。安全研究会でテスト結果を検討。さらに、安全衛生委員会でも検討。SR導入により、エコドライブへの実践、燃費の向上も期待できることや、配送の効率アップにもつながることも視野にいれ、2004年11月初導入。効果が認められ、2005年7月には、全車両導入に踏み切りました。2005年11月からドライバーコンテストを毎年開催。学科、車両点検、運転技術を競い合います。本選前の予選審査でSRの点数を活用。今年は、7~9月の3ヵ月間の点数上位者から選出。100点が多い場合は、イエローカードの数など、所長見解で選ばれます。

#### 2006年 ドライバーコンテストより



学科試験

点検競技

運転競技



表彰式より

## 社内体制構築のポイント

### SRを有効活用できる体制づくり

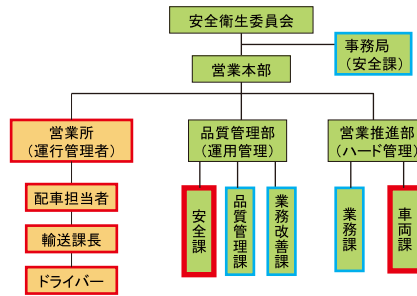
導入当初は、品質管理部がSRを取りまとめて管理していました。

2006年4月から、安全課が総務部から品質管理部に移行し、現在SRの運用管理をとりまとめています。

#### 安全課の業務

1. 巡回(各営業所の点数など活用状況をチェック)
2. ドライバーコンテストの開催
3. 安全運転指導
4. 同乗指導(新入社員教育と同乗依頼時に実施)など

#### SR運用組織図



#### 社内報



社内報でもSRの取り組みを紹介しています

## SR活用の取り組み

### Part 1 SRデータを指標にした意識的な運転が事故減を実現!

SRを導入した当初は、安全対策に大きく関わるのは「機械」ではなく、ドライバーの心がけだ、と思っていました。とりあえず、事故の50%が追突事故だったので、「ブレーキ」「停止」の点数を上げることを目標にしました。

ブレーキと停止の点数を上げるコツは「車間距離をとる」こと。思惑通り追突事故が減ったので驚きました。

今は、**SRで100点を取る人が事故を起こさないわけではないが、点数の低い人が事故を起こす確率が高い傾向にあることが見えてきました。** 事故件数は、昨年は10件(2006年1月～12月)で、年間目標の9件を惜しくも達成できませんでした。今年は9月末現在で2件。目標達成に向けてがんばっています。

### Part 2 SRデータは、運転についての「会話」を創り出す!

SR診断の得点向上のための指導をすると、道路環境の影響を気にするドライバーもいました。

- 例) 『車間をとる』 → 脇から入られる  
『ゆっくり交差点を曲がる』 → 後続車からあおられる

「事故をなくすために取り組む」というドライバーの意識改革が必要と考え、取り組みを行ってきました。好事例を社内報や回覧で紹介。各営業所を巡回し、SRが活用されているかをチェック。社内あげて**安全に取り組む中での最大の変化は、運行管理者とドライバーが運転について話し合うことができるようになったこと。**

安全運転に対する気持ちがSRを導入することで高まったといえます。

#### レッドカードの活用事例



1. ドライバーが再発防止策を記入
2. 所長がアドバイスを記入
3. 回覧 ⇒ 掲示

※ 危険箇所と個人の問題を喚起

## SR導入当初の悩み

### 中・小型車で高得点は取れないのだろうか・・・

大型車の点数を上げるのはやさしいことだし、簡単だが、中・小型車は点数を上げるのは難しい。2t車は不利だ、車を乗り換えれば点数が上がる、といった意見や不満がドライバーにはあり、取り組みの中での悩みとなっていました。

そこで、データ・テック主催の『SRお客様交流会』『SRセミナー』に参加。質問をぶつけてみました。すると、同じ悩みを持つ会社がたくさんあることがわかりました。確かに車種で点数の出方には特徴があるもよう。しかし、SR先輩企業では、小・中型車、トレーラーなどでも高得点を取っているドライバーがいることもわかりました。

また、同じ頃、現場でも不利といわれる環境の中で一生懸命に取り組む、100点をとるドライバーが出現!

**現在は、大型車は確かに点数を出しやすいかもしれないが、2t車などの小・中型車でも高得点を取れないわけではない! という考えに変わっています。**



運転診断結果を掲示

## 現在の取り組み(今後の課題)

### 燃費向上への取り組み開始!

2007年度の取り組みテーマは、燃費向上。高得点取得は燃費向上につながる事がわかっています。

具体的な目標として「スムーズ」の点数を上げることを掲げて取り組んでいます。

日本ロジテム様でSR活用を積極的に進めている

# 厚木営業所にお邪魔しました

日本ロジテム株式会社  
 厚木営業所  
 〒243-0036  
 神奈川県厚木市長谷柳町281  
 TEL:046-248-2046  
 FAX:046-247-8713



## 小野所長様にインタビュー！

### SRは、コミュニケーションをとる手段として有効！

- ・事故はSR導入前からほとんどない
- ・SRを導入後、安全運転に取り組むための場を設け、環境を整えた。ドライバーの意識も高く、副長を中心にドライバー同士で積極的に取り組んだ
- ・SR導入の効果は大いにある
  - ①事故の可能性がなくなること
  - ②全員で安全運転に取り組むこと
- ・SRを導入して安全運転の話題の内容が変わった
  - ①SR導入前：安全研究会で出た話題、他で聞いた事故について、など
  - ②SR導入後：導入前の話題に加えて、運転操作や技術について事故予防のための具体的な運転操作について
- ・SR導入効果により、会社に貢献しているという実感がある
  - ①事故の可能性が少なくなる
  - ②相乗効果で燃費もよくなり、CO<sub>2</sub>削減にも貢献

### 【厚木営業所の安全への取り組み】

- (1) SRの運転診断結果の点数を毎朝掲示
- (2) 車両別燃費の掲示、グリーン経営の取り組み
- (3) 月1回ドライバー会議を開催
  - ・本社「安全研究会」に副長が出席。内容を全ドライバーに伝達
  - ・安全研究会で出た話題をもとに、注意点を確認
  - ・ドライバーさんの疑問点などに答えると共に様々な意見交換

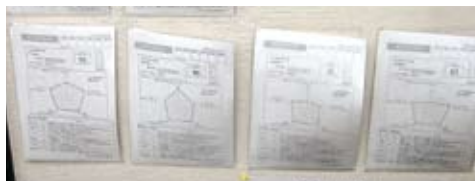


左から新海副所長、碓井副長、小野所長

## 新海副所長様にインタビュー

### Q1 厚木営業所の取り組みのポイントは？

ドライバーから入社時に「昨日の点数を見たいなあ」という声が出てきました。それに応え、毎日、昨日のデータを掲示。毎朝の確認がドライバーの習慣に。「昨日もいい点数だった！よかった！今日もまたがんばろう」という声や思いが、営業所内に広がっています。



新海副所長が毎朝掲示します。「ブレーキ」「停止」平均18点が目標！

### Q2 今後の課題は？

イエローカードで運転のクセの傾向を話し合うのですが、このグラフの見方が少し難しいです。例えば、急制動のイエローカードが多いというクセがありそうなドライバー。場所を見ると坂道が多そう。波形グラフの見方がわかればもう少しこんな操作をしているのかな？などわかるのかもしれないと思います。イエローがなくなるための具体的な運転操作を、まだ教えてあげられていない。本社からももらった資料を見ながら、時には副長とも相談。もしかするとブレーキ、フットブレーキ、エンジブレーキ、排気ブレーキ、リターダーの使い方がこの場所に適していないのかも？という話になりました。

## 碓井副長様にインタビュー

### Q1 はじめから、抵抗なく積極的に取り組みましたか？

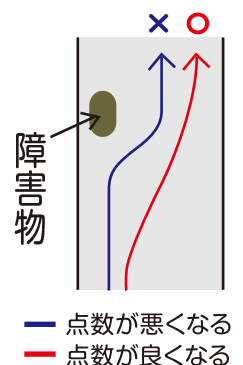
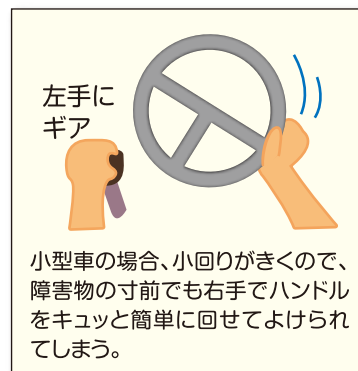
SR導入時、ドライバーの中でいやだな、という気持ちは無かったとはいえませんが、でもSRは点数が出るので、自分が1番に100点を取ってやる！と皆で思っていました。

#### <2006年までの結果>

- 大型は良い(導入後すぐに90点台が出た)  
大回りしか走らない・車線変更もほとんどしない
- 小型は悪い(50点~60点くらいしか出ない。70点でかなり良い)

あの運転でも点数が出ないのだから仕方がない。車両や道路環境の影響だとあきらめていました。

今では車種、道路環境は関係ないという考えを持っています。



## Q2 今では、みなさん80~90点台！何がきっかけで点数が上がったのでしょうか

100点を取る人が出てきて、「このままではいけない！」思い直したのをきっかけに、100点を取るための運転を考え、実践しました。  
 ようやく100点が取れるようになると、今度は毎日100点を取らなければ、というプレッシャーを感じて、疲れてしまい、運転もぎこちなくなっていた気がします。交差点であられることが何度かありました。今では無理なくゆっくり操作で安全運転することに努めています。交差点もスムーズに曲がるので、後ろのドライバーも気にならないのだと思います。あられることもありません。

### 【碓井副長の運転業務】

- ・車 両：2t箱車 積載3t CNG車
- ・積 載 物：カーペット・床材・壁紙など1t~3t
- ・走 行 距 離：約130km/日、走行時間：約5時間
- ・配送の道路環境：国道を通るのは朝晩くらい。他は抜け道など狭い道が多く、工事現場の中に入っていくことも



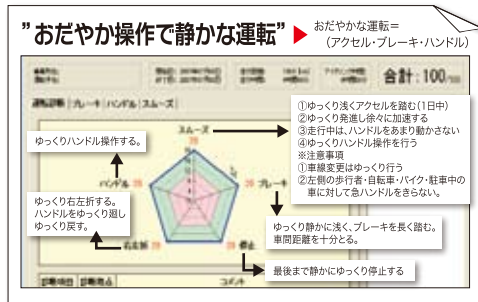
碓井副長の運転診断100点！

### 碓井副長の 運転診断100点！までの道のり

- 2~3月 営業所内で100点取得者が出現！（碓井副長60~70点）
- 5月 高得点取得者に話を聞く
- 6月 後半100点出せた！100点を取れる運転がわかってきた！
- 7月 毎日100点を取るんだ！という気持ち
- 8月 100点はいつでも取れる自信がついた！毎日100点に近い運転を心がける
- 現在 無理なく安全運転することに努めている（9月の平均点は99点！）

## Q3 ゆっくり操作で仕事への影響はどうか？

はじめは、「こんなゆっくりでは残業になってしまうなあ」と思っていました。結果的には意外と大丈夫なんです。早く終わることもあるんですよ。  
 「おだやか操作で静かな運転」を守ればスピードが多少出ても、デコボコ道でも坂道でも点数は出ます。ポイントをちゃんとおさえることが大事だと思います。



## Q4 点数が上がって、安全運転になったと感じますか？

実感しています。点数が上がる前は帰庫するまで、「ハラハラ、ドキドキ」することがありました。今ではありません。  
 自己流の運転が正しいと思っていましたが、SRという機械に出会って、それが違うということがわかり、運転の切り替えができました。  
 SRは運転の仕方を評価していると思います。安全運転で高得点を取り、日々継続することによって自分を事故から守ることができます。また、会社からの要望に応え、貢献していると感じています。

## 株式会社 データ・テック イベント紹介

参加には、事前申込みが必要です。お問い合わせは、下記コールセンターまで

### スケジュール

### SR定期セミナー・お客様交流会

	12月	1月	2月	3月
東京 (株)データ・テック 東京本社 (大田区 蒲田)	12/14(金)		お客様交流会 2/22(金) (大田区 産業プラザPiO)	3/14(金)
大阪 大阪厚生年金会館 (大阪市 心斎橋)		1/23(水)		

※イベント日程、会場等は都合により変更する場合があります。変更になる場合は事前にご連絡いたします。

### セミナー紹介



### SR定期セミナーを開催しています

当社ではアフターフォローの一環として、SR定期セミナーを開催しております。SRを導入してくださったお客様を中心に、SRの操作方法から点数を基にどのようにドライバーと話をしたらよいかなど、参加者同士で意見交換が行われます。体験に基づくアドバイスなども数多くいただいております。

### 発行：株式会社 データ・テック

〒144-0052 東京都大田区蒲田5丁目8番7号K-1ビル8F  
 【コールセンター】 TEL: 03-5711-7286 FAX: 03-5703-7063

<http://www.datatec.co.jp>